

インバウンドマーケットセミナー 「中国セレクト消費の実態と今後の可能性」



袁 静 EN SEI

株式会社行楽ジャパン代表取締役社長。『行楽』発行人。

北京第二外国語大学、早稲田大学大学院修了後、日経BP社に勤務し、日本で10年を過ごす。中国に帰国後、北海道の魅力を多くの中国人に知ってもらおうと、2009年に『道中人』を創刊。2011年、九州をテーマに『南国風』を創刊。2013年『道中人』と『南国風』を合併し、中国初の和風モダンをキーワードにするトラベルライフスタイル誌『行楽』を創刊。2017年と2019年にはJNTO（中国）指定講師（訪日旅行セミナー）を務めるなど、中国での日本の観光PRにて活躍されている。近書は『日本人は知らない中国セレクト消費』（日本経済新聞出版社刊）。

【変化する中国インバウンド市場】

現在日本を訪れる中国人旅行者は「古いステレオタイプのインバウンド旅行者像」と違う「成熟した魅力ある消費者」としての姿を見せつつあります。

日本の自然と繊細な文化に触れることを好み、仏教やお茶といった、今の中国では失われた中国由来の文化が残る日本を訪ねる。日本の進んだ技術や製品を評価し、そういったものを生み出した日本人の、日常体験に触れることにも大いに興味を持っています。

【堺の街が持つポテンシャル】

まちづくり部会のチームTEではインバウンドへの取り組みを課題として取り組みを進めておられますが、歴史と伝統に裏付けられた堺の街は、今後、中国インバウンド市場にとって魅力的なディスティネーションとして受け入れられていくポテンシャルがあると思われます。更には、インバウンド需要の取り込みだけではなく、国内市場も含む幅広い需要の掘り起こしに繋げていくことが狙いです。

【セミナーの狙い】

今回は、中国のトラベル＆ライフスタイルマガジン「行楽」の発行人／編集主幹である「袁 静」氏を講師にお招きしています。現在の中国の消費の鍵を握る「プチ富裕層」をテーマに、様々な角度からその嗜好性や消費動向を解き明かしています。中国人ならではの観点から分析する今の中国マーケットの姿は、私たちが自分の商品やサービスを磨き上げていく上で参考になると考えられます。

講 師

えん せい
袁 静 氏

日本に特化した中国で唯一のトラベル＆ライフスタイルメディア「行楽」の発行人／編集主幹

日 時

令和元年7月2日(火) 14時～16時

場 所

コワーキングスペースLR

堺市堺区中瓦町 2-3-20 矢本ビル 3F 090-6242-2770

費 用

1,000 円